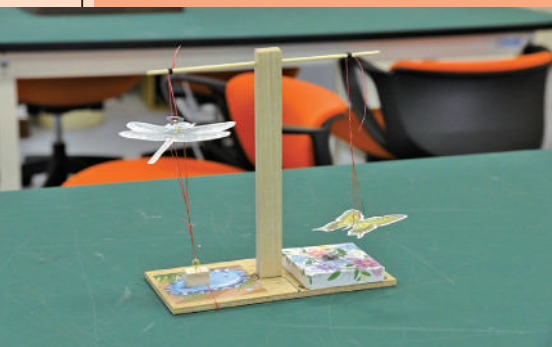


作品紹介

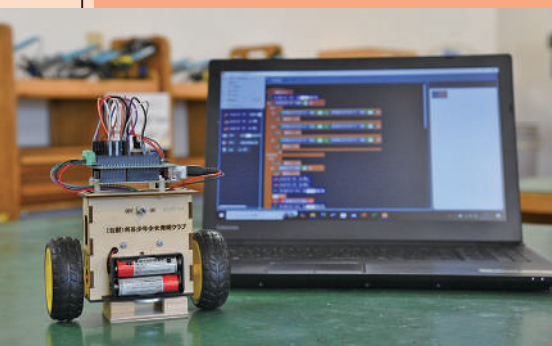
磁石おもちゃ（工作技能育成教室 基礎コース）
磁石の押し合う力と引き合う力の働きを学び、木工工作の基礎を身に付けます。



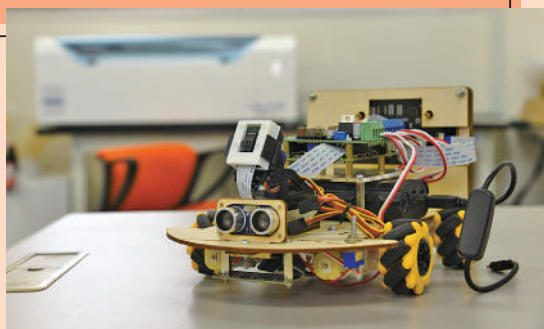
ポーターロボット（工作技能育成教室 中級コース）
電気回路や動作を学び、工作の段取りや組み立て順序を自ら考えて作ります。



倒立振り子（工作技能育成教室 上級コース）
ジャイロセンサーを使い、タイヤを動かすプログラムを微調整して、2輪のみで長時間安定して倒立する車を作ります。



ロボットカー（AIチャレンジコース）
レーザーカッターや3Dプリンターを使って部品を作り、マイコンやカメラで標識や信号を把握して自動運転する車を作ります。



OM*教室
アメリカで開催されるOM世界大会への出場を目指して課題解決の特別訓練を行います。
*Odyssey of the Mindの略で、与えられた課題に対していかに創造的な解決をしたかを競う。

AIチャレンジコース
ロボットカーの製作を通して、先端的な加工技術やプログラミング、AI画像認識などを学びます。

チャレンジ創造コンテストコース
からくり機構を使った作品のパフォーマンスを競う大会で全国大会出場を目指します。

工作技能育成教室
学年に応じてコースが異なり、工作の基礎から、センサーやプログラミングを使った作品作りまで、ものづくりを段階的に学びます。

創意工夫工作教室
土曜の午後や日曜、夏休みに自分なりの工夫を入れた作品を作り、クラブ創意工夫作品展に出品します。

刈谷少年少女発明クラブ

創立50周年

刈谷少年少女発明クラブ（☎23・1161）

昭和49年に全国初の発明クラブとして発足し、昨年6月に創立50周年を迎えた刈谷少年少女発明クラブ。本特集では、歴史と伝統のあるクラブの活動を紹介し、関係者へのインタビューを通して魅力を探ります。

少年少女発明クラブとは？
ものづくりや科学技術に親しみながら、学校や家庭では得られない創造活動を体験できる場所です。現在は、全国214カ所のクラブで約1万1千人が活動しています。刈谷少年少女発明クラブでは、市内外の千人を超える子どもたちが元エンジニアや元教員など21人の指導員と共にものづくりを楽しんでいます。クラブでは、子どもたちの創造性の育成を目的に、発想力、技術力、集中力を鍛え、達成感を味わうことができるような活動を行っています。

ものづくりを段階的に学べる教室

クラブでは、学年に応じてコースが異なる工作技能育成教室を開講しています。小学1年生が対象の発明工作入門コースでは、紙工作を中心に作品を作ります。小学2～3年生が対象の基礎コースでは、工作の基礎となる図面の読み方や書き方、工具の使い方を学び、小学4～6年生が対象の中級コースでは、電気工作の技能を習得したり、アイデア発想訓練を行ったりしています。中学生が対象の上級コースでは、センサーを活用した作品を考えて製作したり、プログラミングを修正して2輪車を動かしたりするなど、ものづくりの技術が段階的に習得できるようになっています。他にも、創意工夫工作教室やチャレンジ創造コンテストコース、AIチャレンジコース、OM教室があります。

各種大会の成績もトップクラス

各種の大会やコンテストに積極的に参加し、日本一、世界トップレベルを目指している刈谷少年少女発明クラブ。市村アイデア賞で特別賞の文部科学大臣賞を受賞したり、OM世界大会で優勝したりするなど、子どもたちはクラブで育んだ創造性を発揮して輝かしい成績を残しています。

刈谷少年少女発明クラブの沿革

昭和49年	小学4年生以上を対象にクラブ発足
昭和54年	対象を小学2年生以上に拡大
平成14年	OM教室・上級コースを新設
平成16年	現在のふれあいプラザうきそ内に移転
平成26年	OM世界大会初参加
平成27年	OM世界大会第1位
令和4年	発明工作入門コースを新設
令和4年	OMバーチャル世界大会第1位
令和6年	AIチャレンジコースを新設
令和6年	OM世界大会第1位